



2025年12月8日

各 位

上場会社名 株式会社ミロク
代表者名 代表取締役社長 弥勒 美彦
(コード番号: 7983 東証スタンダード市場)
問合せ先責任者 取締役管理本部本部長 宮地 雅久
(TEL 088-863-3310)

減損損失の計上及び2025年10月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年10月期連結会計期間において、減損損失の計上を行うことといたしました。これに伴い、2024年12月13日に公表しました2025年10月期通期連結業績予想を、本日開催の取締役会において下記の通り修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社及び当社獵銃事業の子会社である株式会社ミロク製作所、株式会社南国ミロクの両社において、米国での関税引き上げの影響等、事業環境の変化を背景とした収益性の悪化が見込まれ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき検証した結果、固定資産の減損損失として2,512百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 2025年10月期通期連結業績予想数値の修正（2024年11月1日～2025年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,260	百万円 100	百万円 250	百万円 180	円 銭 61.02
今回修正予想（B）	12,518	△24	211	△2,525	—
増減額（B-A）	△742	△124	△39	△2,705	[REDACTED]
増減率（%）	△5.6	—	△15.6	—	[REDACTED]
（ご参考） 前期実績（2024年10月期）	10,918	△519	△263	△2,294	△777.67

3. 修正の理由

獵銃事業につきましては、当社製品のOEM供給先であるブローニンググループからの受注数量は堅調でしたが、高付加価値製品の割合が予想を下回ったことから、売上高は減少しました。また利益につきましては、為替変動による想定以上の円安進行による海外調達部品の値上がり、また国内調達部品も値上がりするなど原材料価格の高騰等の影響が大きく、これらの要因による製造原価の上昇分を製品の販売価格に転嫁出来ず、営業利益において予想を大きく下回りました。また親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記1の通り、減損損失の計上を行わざるを得ない状況となり、多額の損失を計上するに至りました。

工作機械事業につきましては、機械部門及びツール部門の販売数量は予想を上回ったものの、他の部門が若干減少したことから、全体の売上高はほぼ予想並となりました。利益につきましては、収益性の高い加工部門の売上減少等の影響により、予想をやや下回りました。

クラウドソリューション事業につきましては、売上高はほぼ予想並となりましたが、引き続き営業損失を計上しております。

その他事業につきましては、売上高、利益ともにほぼ予想並となりました。

その結果、上記の通り2025年10月期通期連結業績予想を修正いたします。

※上記予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上